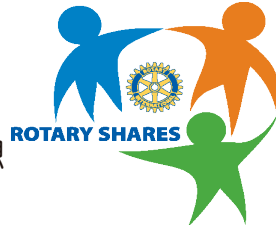


FUJIEDA ROTARY CLUB Weekly Bulletin

例会:毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL 054-641-3321
事務局:藤枝市青木1-9-16 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
E-mail club1972@fujieda-rotary.org

会長: 村松 英昭 副会長: 青島 克郎 幹事: 青島 彰 副幹事: 仲田 廣志

第1750回



<ソング> 君が代・奉仕の理想
<ソングリーダー> 杉浦 良一君

2007-2008年度 RIテーマ
ロータリーは
分かちあいの心
ウィルフリッドJ.ウィルキンソン



【 富士山 】

写真提供: 青島克郎君

■ 会長報告

村松 英昭君

今年も早くも、2月になりました。先日の日曜日、2月3日は節分でした。節分の由来は、立春、立夏、立秋、立冬のそれぞれの前日をいい、季節の別れ目となる日のことです。

現在、行事として残っているのは立春の前日だけです。節分には、いわしの頭をひいらぎの枝に刺して戸口や軒下に飾る風習が各地に伝わっています。これは、平安朝の昔に節分の夜になると都に鬼が出没し、女、子供を食べるので、鬼が臭いを嫌うという「いわし」と、トゲが鬼の目を刺すといわれるひいらぎを戸口に飾って、鬼よけにしたことが元とされています。

毎日、中国製冷凍餃子による中毒事件が報道されています。一刻も早く原因の究明がのぞまれます。この事件を考える時、日本の食糧自給率39パーセントという低さが背景にあることを考えなければなりません。以前、貿易黒字を減らすために農作物の自由化を行った結果がこのような事態をまねいたと思わざるをえません。日本は、国策として農業に力を入れ、食料自給率を英国並みに70パーセントまであげる政策を考えてほしいと思います。また、国防もあわせて考えると日本はアメリカの51番目の州となるか、中国の属国になるかのどちらかを選らばなければならなくなるかもしれません。皆様はいかにお考えですか？

■ 理事会報告

青島 彰君

・クラブ会計中間報告があり理事会にて承認され

ました。

- ・2, 3月度例会プログラムが承認されました。
- ・次年度クラブ組織案が次年度会長予定者より発表され承認されました。
- ・「RI 意義ある業績賞」に奉仕プロジェクト委員会担当の静岡産業大学での冠講座をエントリーします。

■ 幹事報告

青島 彰君

- ・2月17日(日)開催のIMの集合時間は午後1時30分とします。会場は小杉苑です。駐車場が不足のため自家用車の利用は控えてください。
- ・ガバナー事務所より日台ロータリー親善会議出席の案内が届いています。
- ・ガバナー事務所より識字率向上プログラムの問い合わせがありました。当クラブでは該当しません。
- ・ロータリーの友委員会よりロータリー手帳販売の案内が届いています。
- ・藤枝こどもと本をつなぐ会より会報が届いています。
- ・熊平雅人氏より「抜粋のつづり」が届いています。
- ・米山記念奨学会より感謝状が届いています。(功労者櫻井龍太君・功労クラブ13回)
- ・国際大会への出席依頼とアンケートのお願いがガバナー事務所より届いています。

◎米山記念奨学会

感謝状表彰

櫻井 龍太君



■出席報告

鈴木 廣利君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
26 / 39 66.67%	27 / 38 71.05%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○大塚君 ○成瀬君 ○渡辺君 ○池ノ谷君
○水野君 飯塚君 板倉君 落合君 鈴木舜君
鈴木晶君 仲田晃君 村松徳君 望月志君

■スマイルBOX

松葉 義之君

●古希にて本日誕生日です。時々ボケがきていますのでお願いします。 望月 晃君

●ありがとうございます。お陰様で何とかここまで来ました。が、まだ7合目までは何年かあります。無事頂上まで行けますように！！ 鈴木 廣利君

●いつのまにか59才となってしまった。気持ちは40才です。

家内は還暦です。共済組合から還暦祝いの案内がきましたが還暦の言葉には抵抗がありそうです。

青島 彰君

●家内の誕生祝いをありがとうございます。

柳原 寿男君

●妻の誕生祝ありがとう！！

櫻井 龍太君

●結婚記念日祝きれいなお花をありがとうございました。 竹田 勲君

●早くも50周年によくここまで。二人でこれからも健康に注意していつまでもと思います。

杉山 静一君

■委員会報告

クラブ広報担当リーダー 石垣善康君

『2008年2月ロータリーの友概略』

2月は世界理解月間です。

1905年2月23日、ポールハリス初め4名がシカゴではじめて会合を開いたロータリー創立記念日です。各クラブは国際理解と友情と平和への献身を行わなくてはならない。世界理解月間です。

P1: RI 会長メッセージ

平和は暴力によって得る事はできない。それは理解を通してのみ得る事が出来る。

P6 ~ 世界のロータリアンの活動紹介

P10 ~ 日本のロータリアンのアジアでの活動報告

P いのち輝いて

東京銀座新ロータリークラブ会員の談話

市川団十郎—白血病

日野原重明—97歳

仕事—生きがい—命をテーマに

P 新見ロータリークラブ

解散の危機から再開—4名~現在は36名に。

P 友愛の広場 特に面白かった。

「表紙の写真」

2008年—2009年は、環境をテーマにプロの写真家による写真を掲載

水の生物、陸の生物

2009年—2010年は、テーマ、祭り

締め切りは2009年4月です。一年間頑張ってください。

■国際奉仕担当 静岡産業大学留学生卓話

国際奉仕委員会では、クラブ会員及び地域との国際交流をはかることを目的に、静岡産業大学 情報学部の留学生を対象とした「留学生のための会社見学会」を実施しました。

協力いただいた会員企業7社に48名の留学生が参加しました。参加した留学生の中国人、ベトナム、スリランカ、ネパール、ミャンマー、バングラデシュの国々の学

生は、日本企業の会社経営や仕組みを学べた上、教科書では知りえない現場見学までさせていただいたことに、大変感激していました。

今回のこの事業は、地元でできる最大効果の地域貢献、国際交流だと思っております。アジアからの留学生は欧米に学び、世界有数の先進国となっている日本を学びにきています。彼らがやがて帰国したときに今回の会社見学で見聞きたことを少しでも生かせることができれば光栄に思います。それがロータリアンの国際奉仕であるとも思います。理想・理念の高い国際交流も大切ですが、地域で、身近でできる国際交流こそが最大の奉仕であり、また会員の積極性にもつながり、やがては、地域への活性化にもつながると思います。

会社見学会の概要と参加した留学生を代表して3名の学生の感想をご紹介します。

【会社見学会 概要】

日時	企業名	内容	見学者数
10/4(木) 13:30~	(株)NTT 西日本静岡 藤枝営業所	【電話事業】 従来の電話サービスから光ブロードバンドサービスまで工事・メンテナンス事業などを紹介	6名
10/10(水) 10:00~	(株)ロジテム ツムラ	【ロジスティクス業】 医薬品を中心とした総合ロジスティクス企業での取り組みや、流通システムの紹介と現場見学	11名
10/11(木) 10:00~	(株)ツムラ 静岡工場	【製造業】 医療用漢方製剤の工場見学	8名
10/16(火) 10:00~	中部電力(株) 藤枝営業所	【電気事業】 原子力発電の紹介を兼ねた仕事の紹介	6名
10/17(水) 10:00~	(株)石垣印刷	【印刷業】 印刷に関する企画・立案・制作等の紹介	4名
10/23(火) 10:00~	志太建材(株)	【建設業】 日本の塗り壁と現場見学	8名
10/24(水) 10:00~	(株)藤枝江崎 新聞店 (有)藤枝オリ コミピーア ール	【小売業 新聞販売】 新聞宅配システムの紹介及び活動状況について 広告オリコミの見学	5名

(発表者)

1. 情報デザイン学科3年 譚 静 (タン セイ) 中国
2. 情報デザイン学科2年 バンダラ ホリピティヤ
スリランカ
3. 国際情報学科2年 陳 武陽(チン ブヨウ) 中国

譚 静 様
(タン セイ)



こんにちは。静岡産業大学情報学部デザイン学科3年の譚静です。よろしくお願いいたします。

去年の10月、私は学校の国際センターから会社見学会の資料をいただき、いくつかの会社の中から最も興味をもった2つの会社を選択しました。ただ興味だけではなく、参加した要因のもう一つは日本企業の会社経営の仕組み等を勉強したかったからです。今後、私達も日本の企業に就職するかもしれないので、日本企業について深く理解すべきだと思っていました。

今回、私が見学に行ったのは「志太建材株式会社」と「ツムラ静岡工場」の二つです。2社しか参加しなかったのですが、感想はかなり多かったです。

まず、「志太建材」会社へ行ったときに会社の方は壁を塗る材料の一種「炭壁」を紹介してくださいました。その「炭壁」は消臭でき、健康に良い材料だと言われました。そのような壁が塗っている部屋に入ることがないので、そのときは疑っていました。でもその後、私が日本人の友達の家へ遊びに行ったこのことです。家の隅に炭が置いてあり、友達のおばあちゃんは「これは良い物だ。湿気が吸えるし、空気が綺麗になるよ。」と教えてくれました。なるほど！日本人は普段の生活の中に炭を使っているんだ。だから会社は「炭壁」を発明したのかもしれない。そこまでよく考えているんだなあ～と思いました。

「ツムラ静岡工場」へ行ったとき、気付いたことがあ

りました。それは薬の臭いがしないこと。私は漢方薬に興味がありますが、薬の臭いはとても苦手です。実は私は以前、中国の薬を作る工場へ見学に行ったことがあります。10年くらい前のことですが、今でもまだ当時の薬の臭いを覚えています。臭かった～！

私は、工場見学へ行く前は薬の臭さを想像して緊張していました。私は工場に入ってすぐ臭いをかぎました。何か違う。そこには薬の臭いはなく、代わりに花のような良い香りがしていました。そのお陰で、私の緊張はすぐに消えました。

他の参加者はどんな感想があったのでしょうか？私には分かりませんが、私が感動したのは、日本企業の人に対する細かな配慮でした。会社の利益のことだけではなく、自分のいるこの空間や身のまわりのことをよく考えていると感じました。小さなことかもしれませんが、とても大事で素晴らしいことだと思っています。中国企業にはそうした気遣いはまだありませんが、これから日本企業に負けずに頑張っていけると信じています。

今回の会社見学をとおしてとても良い経験ができ、教科書より良い勉強になりました。本当にありがとうございました。

バンダラ

ホリピティヤ 様



自己紹介: 静岡産業大学情報学部2年生のホリピティヤです。スリランカから来ました。現在、静岡産業大学でデザインやプログラミング等を学んでいます。

感想: 私は2007年10月4日のNTT西日本藤枝営業所と10月16日の中部電力藤枝営業所へ見学に行きました。そこで私は今まで知らなかったことをたくさん勉強できました。また、それぞれの会社の中まで見学できました。

NTT西日本藤枝営業所ではNTTの歴史等の説明をしていただきました。まだ発展途上の国である母国には無い日本の最新通信技術である光ファイバーのことを説明していただき、その時に使用するケーブル等も実際に見せていただきました。そこで私が驚いたのは、ADSLの場合、ケーブルをいくつか使って送信する情報より、たくさんの情報量が髪の毛一本ぐらいの線のひとつで、より素早く送ったり受け取ったりできることでした。

そして、10月16日の中部電力藤枝営業所の見学についてですが、ここでもたくさん勉強になりました。

母国スリランカはまだ水力発電と火力発電しかありませんが、日本は原子力発電をしている国として新しいことばかりです。原子力発電の場合は発電の仕方、日本の中でも雪が多い北海道と静岡等のように暖かいところでは、送電線が違うこと等も勉強になりました。世界で日本は停電が少ない国と言われています。私は、停電を少なくするために電力会社はどんな風に頑張っているのか考えもしませんでした。スイッチを入れると電機がつかますが、その後ろにある大きな動きは中部電力の見学会で分かりました。それに、火を使わなくても料理できる電気調理器具の使い方や安全性等も丁寧に教えていただきました。

遠い国スリランカから日本に留学したのはコンピュータのことを学ぶためですが、静岡産業大学に入学したことと皆様のお陰で大学の勉強以外のこともたくさん学ぶことができました。そうした色々なチャンスを私達に与えていただいたことに感謝しています。ありがとうございました。

陳 武陽 様
(チン ブヨウ)



私は、静岡産業大学情報学部国際情報学科2年の陳武陽と申します。中国湖南省出身です。

私は、今年の10月10日の株式会社ロジテムツムラ

様の会社見学会に参加させていただきました。この見学会に参加させていただいて、私は、「物流」の意味をはじめて理解することができました。大学の授業でも「物流」という言葉が良く出てきます。私は「物流」という文字から「物流」のことを物の流れ、物を運輸することだと思っていました。今回の会社見学会での説明を聞いて、私はようやく、「物流」とは「物を運ぶ運輸事業だけではなく、物を作る側から消費者への商品の供給までの管理が物流の本当の意味である」と理解することができました。

「物流」には商品の包装、保管、荷役、配送などの流通加工における物流情報が多く含まれています。現代社会においては企業の市場に対する反応速度は出来るだけ早くなければなりません。現在のビジネスは“商品を大量生産し、消費を待つのではなく、無駄な在庫を減らし、市場が必要としているものを見つけ出し、商品を消費者により早く届ける”ことが現代ビジネスの特徴であり、市場競争のキーポイントであると思います。そして、この競争を勝ち抜くためには「物流」が発達しなければならないと思っています。

「物流」が発達すれば、企業はより効率的な経営ができ、社会においてもムダを減らし、限りある資源を効率的に利用することができます。このことから物流産業の発展は、社会に大きく貢献するものであると期待しています。

また、中国では物流業は先進国に比べ日本に立ち遅れている。産業として中国の物流業はまだスタートした段階にある。その一方で物流サービスに対する期待は高まっている。したがって、日本企業にとって中国物流市場でのチャンスは間違いなく拡大していると思う。中国物流産業は、先進国企業との提携も含め、ますます発展しながら経済のグローバル化に対応し中国経済の発展にも貢献していくことも期待しております。

今回の会社見学会に参加して、大学の勉強だけでは得られない企業現場での体験ができました。このことは、留学生の私にとって日本の企業現場を経験できる貴重なチャンスでした。今回のこの貴重な

体験を今後の留学生活にいかしていきたいと思っています。

最後に、今回、私達にこのような貴重な体験をするチャンスを与えていただいた関係者の皆様に心から感謝いたします。

本当にありがとうございました。



(担当／北村)